



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社神奈川県支部 平成27年度事業計画

日本赤十字社神奈川県支部の各事業につきましては、県民の皆さま並びに関係者の皆さまの温かいご理解とご協力のもとに着実に推進することができ、心から感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から4年が経過しましたが、被災地は、依然として復興途上にあり、日本赤十字社では、引きつづき地域のニーズに即した活動を展開しているところです。

当支部では赤十字のもつ基本的なミッションを改めて見つめなおすとともに、社会から求められている役割を担うという視点で、効果的に事業を推進することを目的に策定した「中期事業計画～県民900万人総赤十字」に基づき、平成25年度からの3カ年計画で、事業を展開しているところです。

平成27年度は、同計画の最終年度であることから、主軸に据えた3つの柱の目標達成に向け、より具体的に事業を推進いたします。

1つ目の柱である「全ての県民に対する赤十字思想の普及を図る」については、赤十字の理解者・協力者を拡大するため、事業強化に必要な調査を実施するとともに、社内体制の充実・強化を図り、事業展開方法を構築します。

2つ目の柱である「全ての県民を守る災害救護体制の充実・拡大を図る」については、災害発生時に効果的な救護活動を実施するため、災害対策本部の機能強化、備蓄倉庫の充実などを行うとともに、救護班要員や協力ボランティアなどの教

育訓練や防災関係機関等と連携した訓練を実施するなど、救護体制の強化に努めます。さらに、災害発生直後からよりニーズの高い地域で救護活動を展開するための「災害時情報収集システム」の構築、研修、運用訓練を行います。

3つ目の柱である「全ての県民に対する健康・安全思想の普及を図る」については、企業・地域・学校等との連携をより強化し、県民のニーズやターゲットに対して効果的な講習の普及を図ります。なお、日本赤十字社とタイアップしている団体へ指導員を積極的に派遣するなど、他団体との共同事業を推進します。

そして、3カ年計画で実施した中期事業計画の検証、事業構築にかかる多角的な検討を行い、平成28年度以降の次期中期事業計画を策定します。

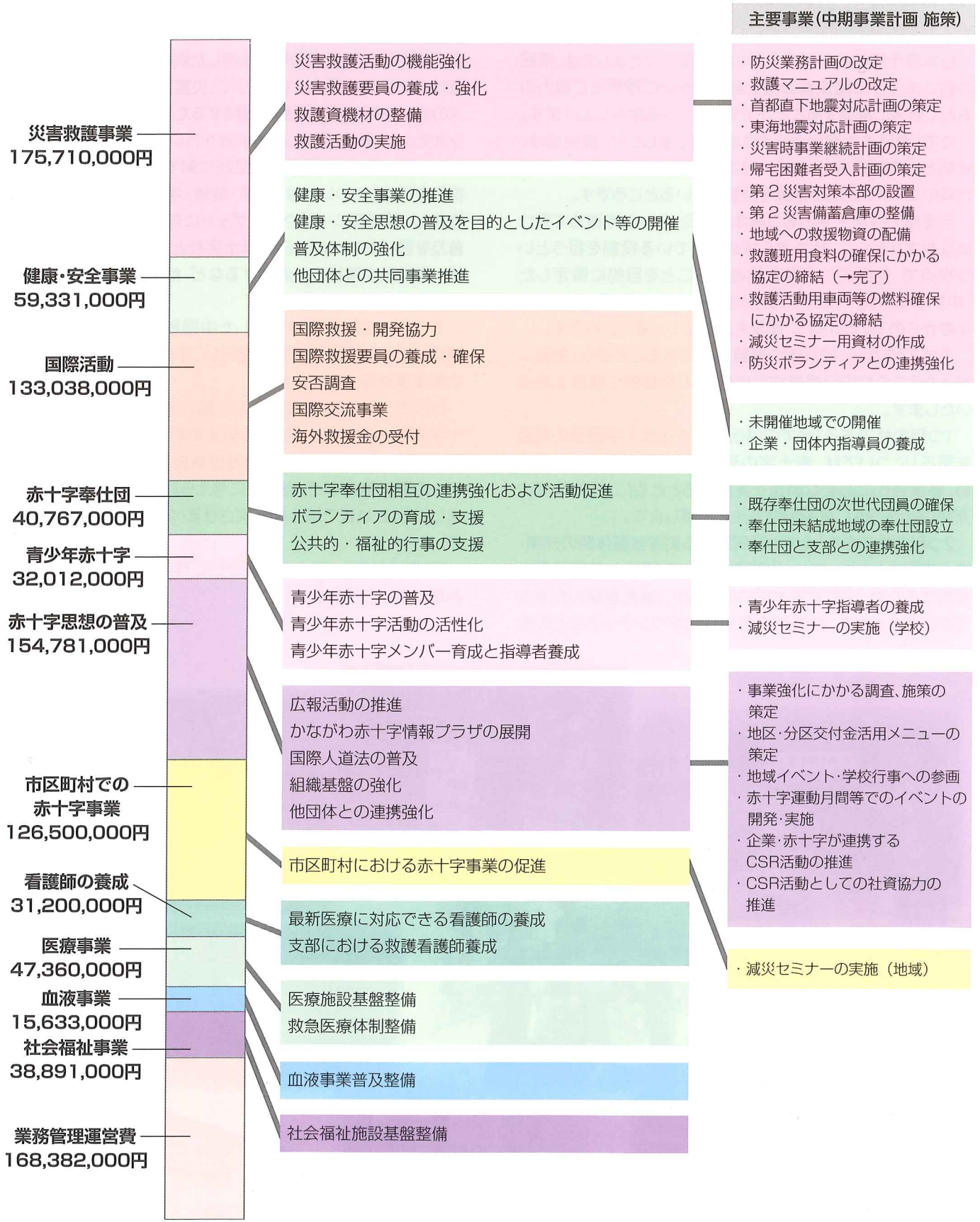
さらに、地域の中核病院として質の高い医療を提供する赤十字病院の運営、血液製剤の安定供給確保を進める血液事業の推進、視覚障害者への情報提供施設である県ライトセンターの運営強化など、当支部に与えられた大切な使命につきましても、これまで以上に充実させるべく取り組んでまいります。

平成27年度も、皆さまの温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



平成27年度事業計画(予算)が承認されました

3月5日、当支部において評議員会を開催し、支部一般会計、医療施設特別会計、社会福祉施設特別会計の平成27年度予算の審議が行われ、全ての議案が全会一致で承認されました。当支部の平成27年度一般会計内容は、次のとおりです。



合計 1,023,605,000円

※医療施設ならびに社会福祉施設は、施設ごとの特別会計になっており、この予算には含まれません。